

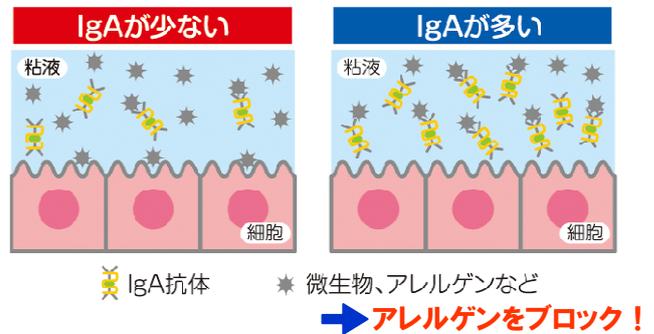
エリンギ摂取による腸管IgA分泌促進作用

当社での試験により、エリンギを食べたヒトで腸管での免疫グロブリンA(IgA)が増加することがわかりました。

免疫グロブリンA(IgA)とは

IgAは、消化管や呼吸器の粘膜において病原微生物やウイルスなどに結合して体内への侵入を阻止します。また、アレルギーの原因物質(アレルゲン)に結合して体内への吸収を阻止します。

したがって、IgA分泌が促進されると花粉症などのアレルギー反応を予防する効果が期待できます。



試験方法

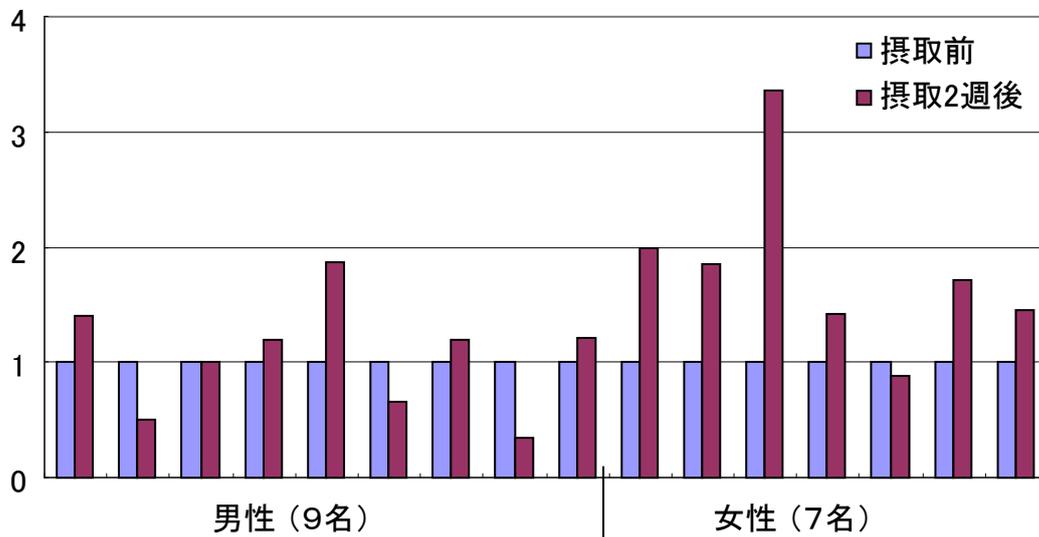
被験者を募ってエリンギを含む食事を食べていただき、便中IgA量を測定することによって腸管でのIgA分泌に変化が生じるか検討しました。

【被験者】 男性9名、女性7名、計16名(平均年齢37.3歳)

【きのこ摂取】 エリンギ100gを1日の食事の中で好みの調理方法で2週間食べていただきました。

【IgAの測定】 摂取前と摂取2週後に便を採取し、便中IgA量をELISA法で測定しました。

IgA変化比率(摂取前を1とする)



エリンギを食べて2週間後に7割の被験者でIgAが増加しました。



エリンギを食べることで花粉症の軽減や風邪の予防が期待されます。



ホクト株式会社 本社〒381-8533 長野市南堀138-1 TEL:026-243-3111(代表)
※無断での複製・転載・使用を固くお断り致します。